



1906年製 フォード モデルN ラナバウト



製造情報

| | |
|--------|-------------------------|
| 製造商 | フォード自動車 |
| 組付工場 | ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州 |
| モデル生産量 | 2,194 |
| 総生産量 | 8,729 (完成車) |
| 馬力 | 15 |
| 重量 | 800ポンド/ 363キログラム |
| 当時売価 | \$500 (USD) |

イノベーション(ポイントのみ)

鑄鉄製フライホイールをエンジン前方に装備

フォードが初めて量産技術を採用して生産した車
ヘンリー・フォードが理想とする車の展望を体現した
のがモデルNであった

ピケット工場での生産は1日100台に達した

非常に信頼性が高く、廉価

モデルNは、大量生産でき、信頼性が高く廉価な車を開発するというフォードの目標へ一歩前進したモデルであり、1906年1月のニューヨーク・オートショーで初めて披露された。販売価格があまりに低く、生産にかかった実際の費用よりも安い価格設定なのではないかと、他の自動車製造会社が疑ったほどであった。当初に発生したサプライと製造の問題により、最初のモデルNは1906年7月まで入手できなかった。前方に搭載された4気筒エンジンおよび最高時速40マイルで車を走行させることができるドライブシャフトが特徴である。

ラリー・D・ポーター収蔵品

この車は、ラリー・D・ポーター収蔵品からフォード・ピケット・アベニュー工場に貸し出された数多くの「アルファベット名の車」のうちの一台中の一台である。そのコレクションは、フォード・モーター・カンパニーが1903年にマック・アベニューで製造した車、そして1904年から1910年にかけてフォード・ピケット・アベニューの組み立て工場に製造した車をすべて揃えている。ピケット工場は、この収蔵車の展示を可能にしてくれたラリー・D・ポーター収蔵品に対し、非常に感謝している。